



松井地区新年祝賀会を開催

平成 29 年 1 月 6 日（金）、松井地区新年祝賀会実行委員会主催、松井まちづくり協議会共催により、松井地区新年祝賀会が松井まちづくりセンター公民館ホールで開催されました。

祝賀会は、藤本正人市長をはじめ、地元選出の国会・県議会・市議会議員、松井地区で活動する自治会・町内会などのコミュニティ関係団体、民生委員・児童委員をはじめとする地域福祉関係団体、防災・防犯・消防等の安心安全関係団体、学校・PTA 等の教育関係団体、地域公民館関係団体の役員など 227 名の出席を得て盛大に行われました。

森田進二郎副実行委員長の開会のことば、安田敏男実行委員長の主催者代表あいさつに続き、来賓として出席された藤本市長、柴山昌彦衆議院議員、西山淳次、水村篤弘、岡田静佳の各埼玉県議会議員、荒川広、越阪部征衛、中村太、吉村健一各市議会議員のあいさつがありました。

斎藤博所沢市体育協会会長による乾杯の音頭で賀詞や情報の交換が始まり、酒食を交えて歓談し



参加者全員で集合記念写真

ながら、今年 1 年の始まりを祝いました。

この「新年祝賀会」は、7 月の「夏季交流懇談会」などとともに、大勢の人たちが一堂に会して様々な情報や意見を交換し合う貴重な機会であり、お互いを理解し合い、「地域一丸」となり、住民自らが地域を作り上げていくことに通じていきます。



新年祝賀会会場風景

所沢市松井地区成人のつどい



式典風景

1 月 9 日（月・祝）、第 70 回所沢市松井地区成人のつどいが松井まちづくりセンター公民館ホールで開催されました。

今回のつどいは、平成 8 年 4 月 2 日から平成 9 年 4 月 1 日に生まれた方たちで、松井地区の対象者 432 名のうち 277 名の方たちが出席し、ホールが満席となりました。

式典では、主催者（成人のつどい実行委員会）の総合司会の他に、大島一平さん、西田杏さんも新成人の司会を務めました。

開式のことば、国歌斉唱のあと、新成人を代表



司会 大島さん、西田さん



市民憲章唱和 前川さん

して前川諒さんが市民憲章の唱和を行いました。

安田敏男実行委員長の主催者あいさつ、寺本彰所沢市教育委員の式辞、柴崎信明東中学校長の来賓代表祝辞、来賓紹介と続き、司会（前出大島さん、西田さん）から祝電披露があり、藤原哲哉さんの新成人代表あいさつでは、成人に至るまでの両親、恩師、地域の人などへの感謝の気持ち、成人してからの決意などが語られました。また、「つどい」では、東・安松中学卒業の男性 4 名が自ら司会となり、立食パーティ形式で盛大に進められました。

久しぶりの恩師や友人との語らいは途切れることなく続きました。



新成人代表あいさつ 藤原さん



地域づくり協議会活動情報交換会に参加しました

1月19日(木)、市役所8階大会議室において、「地域づくり協議会活動情報交換会」が開催されました。

平成24年度に市内で初めて地域ネットワーク組織が誕生してから5年が経過し、現在9地区に



遺産認定事業を発表する
上田事務局長

においてまち(地域)づくり協議会が設立され、地域での特色ある「絆を紡ぐまちづくり」の実現に向けて活動を続けています。

この情報交換会では、それぞれの地域の活動報告と

鶴ヶ島市における活動事例に関する講演が行われました。

松井まちづくり協議会からは地域内に所在する文化歴史遺産や自然環境遺産を後世に継承していく「松井地区文化歴史・自然環境遺産認定事業」について、当協議会の上田事務局長が発表を行いました。

この情報交換会での発表や市民フェスティバルでのパネル展示などを通じ地域外に向けては松井地区の特色や魅力を発信



各行政区の出席者で満員の会場

し、地域内にあっては愛着や誇りを醸成する事業を進めていく一方で、課題である各部会の活性化や人材の発掘・育成を進め、更なる発展を目指していくことを、アピールしました。

他地区からもそれぞれ地域の特色ある活動が発表され、協議会活動の問題点や解決策などの実情に触れることができました。

また、鶴ヶ島市における活動事例の報告として、鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会の柴崎光生会長が、「地域の支えあいのかたち」を主題に、協議会設立から現在までの取組み状況に関する講話を行いました。

講和では、支え合い協議会設立までの鶴ヶ島第二小学校区地域における状況(少子高齢化、核家族化、自治会活動のマンネリ化、実態に合わない行政の防災施策など)を、傘下自治会との連携・協力や行政との協議、協議会のNPO法人化などを通して、住民の主体的な活動の場へと変革していった様子が紹介されました。

今回の情報交換会では、市内他地区の活動状況や他市の先進事例に接することで、地域の助け合い・支え合いに繋がるネットワークの構築に向けて、示唆に富む有益な情報が得られました。



柴崎鶴ヶ島第二小学校区地域
支え合い協議会長

五部会合同会議を開催し、協議会事業を前進

2月4日(土)、自治交流、健康福祉、安心安全、環境自然、文化体育の五部会合同会議が開催されました。

昨年10月に開催されたそれぞれの部会会議や、その後の役員会で協議された提案事業(26年度参考提案28件、28年度部会からの提案13件)について、五部会を通じた意見交換を行い、協議会としての取り組みを協議しました。

この他、五部会会議で決まった部会副部会長や庶務担当の互選結果の報告、住民懇談会開催及びまちづくりセンター庭の芝植え、各構成団体代表者の変更届けは「松井まちづくり協議会加入申込書」を利用することについての説明がありました。

当会議で協議された提案の具体的な内容につい

ては、新たに提案された事項も含め、役員会において更に検討を加えて事業化していくこととなりました。

席上での会長あいさつでも述べられた「地域の人から褒められる協議会」を創り上げるため、地域の横断的な会議の開催や事業の展開を図っていく予定です。

協議会旗のもと
地域のみんで
むらおこし



五部会合同会議

松井まちづくりセンター芝生広場 芝育成プロジェクト

松井まちづくり協議会では、環境自然部会から提案のあった、まちづくりセンターの芝生広場の芝の植え付けを、「芝育成プロジェクト」と名付け、今年度の事業として実施しました。

2月21日（火）及び3月1日（水）の2日にわたり、協議会役員及びまちづくりセンター職員延べ30名が、緑化協力者の中田さんの指導の下、一面の緑化を目指し汗を流しました。

芝生広場は、雨水の排水不良による根腐れや整備不足のために、大きく土面が露出してしまい、見た目も悪く、子どもたちが気兼ねなく寝転ぶことも出来ない状況でした。

2月21日は、露出した土面部分を小型ユンボ、鍬、スコップなどで掘り起こし、小石や近くのケヤキの根の除去を行ったうえ、肥料をまき、日光による殺菌のため1週間余り寝かせることとしました。

3月1日は、水はけなどを考慮して植え付け面を均して、いよいよ芝の植え付けです。

高麗芝こうらいを目地張りして植え付けていくのは、思いのほか大変な時間と労力を費しました。

一通り芝の目地張りを終えた後は、肥料とふるいにかけて土を混合したもので、目地土入れを行いました。

大方の植え付け作業を完了し、芝の根付けと目地土のなじみを目的に、植え付けた芝面全体に散水を行えば、植え付けの一連作業の終了です。

この後、立ち入り禁止囲いの設置や表示を行い、およそ2か月の養生の期間に入りました。

約2週間は、毎日の散水を行うなどの養生を行って「芝育成プロジェクト」の完了です。

芝生広場全面が緑色の絨毯じゅうたんとなるのはまだまだ先のことですが、芝生広場で歓声を上げながら走り回る子どもたちの姿が目に見えます。

まちづくり協議会では、先に実施した門扉塗装など、自ら実施する事業を継続していきます。

地域のことは 地域で考え 地域で実行!



広い範囲で土面露出



表面土の耕し



施肥と表面土ならし



芝目地張り



目地土入れ



散水



工事完了



工事完了記念写真

まついむら古地図を復元しました



ご自宅の住所は当然ご存知ですね。これは土地ごとに登記所が付する地番を住所に用いたものです。

近ごろ、昭和39年当時の地番を示した古地図（公図）が地域内で発見されました。これは、松井地区全域を数枚に分割したのですが、

松井まちづくり協議会でこれらを丁寧に張り合わせ、一枚の全図として復元し、まちづくりセンターロビーに掲示されています。あなたのご自宅の旧地名はいかがですか。

まちづくり協議会参加団体募集

現在、松井まちづくり協議会は30団体の構成により運営されています。

協議会では、更に多くの活動団体に呼びかけ、地域の幅広い活動を目指しています。

一緒に地域を考え、行動していく団体を募集しています。協議会の活動目的を理解・賛同される

団体の方は、協議会事務局までご連絡ください。

五部会のいずれかに所属し協議会事業等を考えていきます。

（松井まちづくりセンター）
TEL 04-2994-1259

参加団体
募集



松井まちづくり協議会 構成団体の紹介

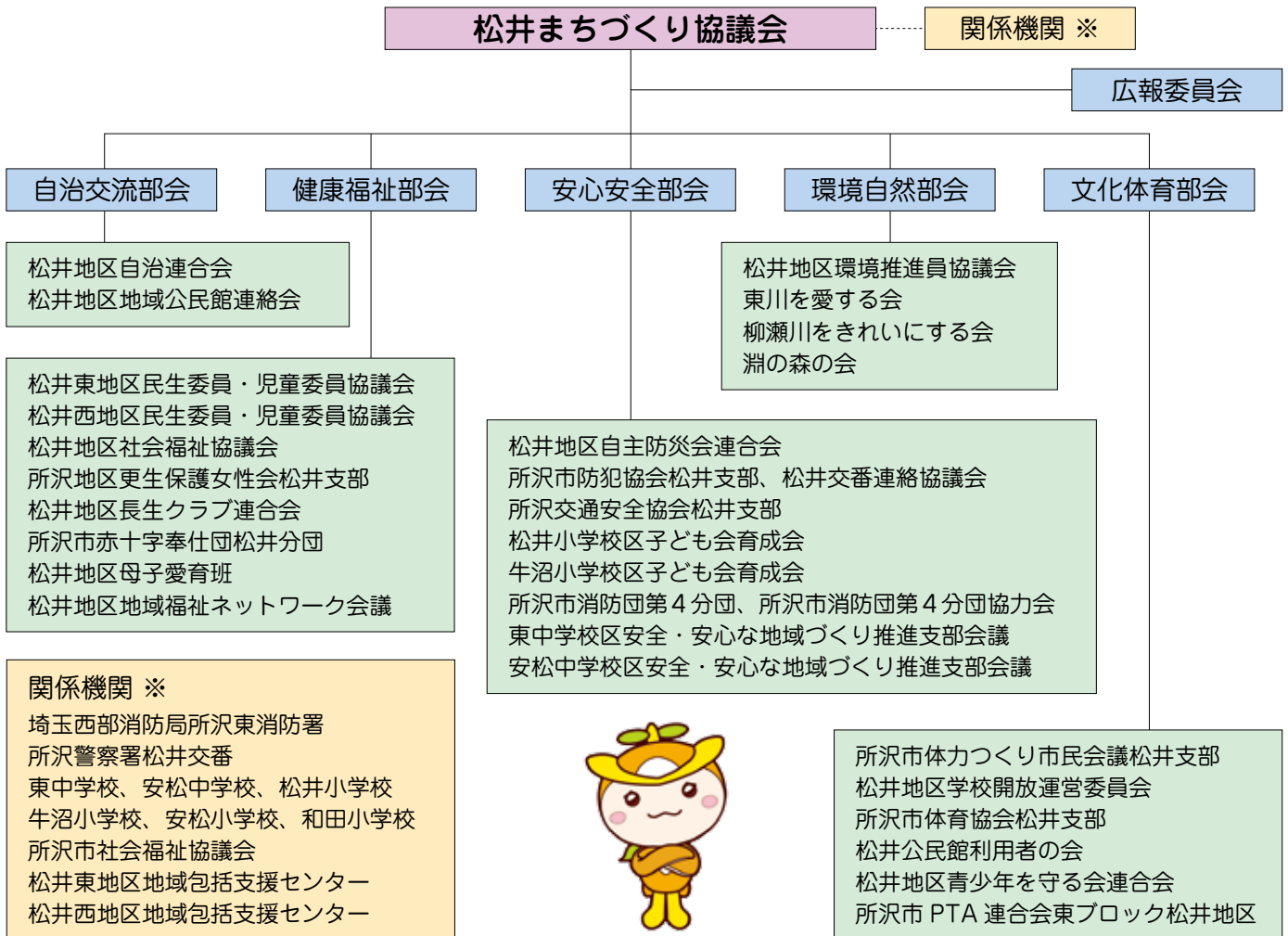
「まついむら」第7号までに、各部会から合計9つの構成団体の名称や活動内容を紹介してきましたが、「まちづくり協議会には、どのような部会があり、どのような活動内容の団体が参加しているのだろう」というお声を耳にします。

今号では、改めて「まちづくり協議会」の組織体制を紹介します。

協議会では、活動の分野や内容が近い団体が5つの部会にまとめ、それぞれのテーマのもと、大きな力として活動していきます。

もちろん、一部会の活動というのではなく協議会全体の活動として取り組んでいます。

また、判断が困難な場合など、必要に応じて関係機関の助言や協力も得ています。



松井地区学校開放運営委員会

委員長 藤宮 誠

松井地区に所在する小中学校の施設を開放し、市民の学習活動や文化活動、及び地域活動の振興に資するとともに、地域に開かれた学校づくりを推進する目的で、校庭、屋内運動場、視聴覚室・

多目的室、図書館を学校教育に支障のない範囲で、市民の利用に供するために市教育委員会に置かれた組織が、松井地区の学校開放運営委員会です。

それぞれの学校毎に定められた施設開放に関する要綱で運営されています。

編集後記 市役所に何かしてもらおう『お願い』より、行政と一緒に動かしてみませんか

芝生の植え替えに汗を流した協議会役員、センター職員、関係者の皆さん大変ご苦労様でした。今から緑の絨毯を思い浮かべているのでしょうか。協議会の活動に一発勝負はありません。地道な活動から地域の人たちの信頼を得ましょう。

本号の〆切日の関係で何時になく苦心した広報紙です。出来ばえは？